

◆◆◆ “東日本大震災” に対する宇陀市の対応 【第 3 6 報】 ◆◆◆ (所管：危機管理課)

6 月 2 日 宇陀市がおこなっている宮城県気仙沼市に対する行政支援チーム第 6 班（藤本・前田組）が、市長室で市長の激励を受けて現地へ出発しました。派遣期間は 6 月 8 日までの予定です。この班で気仙沼市に対する第 1 クールの行政支援は終了しますが、気仙沼市から改めて要請があったため、6 月 2 6 日頃から第 2 クールの行政支援として職員を派遣する方向で検討に入ります。

奈良県銘木協同組合宇陀支部が、吉野杉の杖を宮城県気仙沼市内 7 ヶ所の避難所へ送ることが本日付けの産経新聞奈良版に紹介されました。また、宮城県石巻市の雄勝消防団へ小型ポンプ付積載車を無償譲渡支援することについても、本日付け読売新聞奈良版で紹介されました。

6 月 3 日 本日は、特記事項はありません。

◆◆◆ 本日のニュース ◆◆◆ (所管：危機管理課)

6 月 2 日 茨城県知事から奈良県知事を通じて、「災害救助法に基づく応援要請について」と題した依頼文書と東日本大震災における被害状況が着信しました。(所管：厚生保護課)

6 月 3 日 本日は、特記事項はありません。

◆◆◆ 定時降下物や上水における放射性物質について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

5 月 2 0 日 県は、4 月 1 日から 1 ヶ月間に採取した降下物（1 ヶ月間の累積）から、下記のとおり放射性物質が検出され、本県ではセシウム 1 3 4 とセシウム 1 3 7 は過去 3 年間検出されていないことから、福島第一原子力発電所事故の影響ではないかと考えられると報道発表しました。

ただし、検出された放射線量はごく微量で、この降下物から 1 年間に受ける放射線量は 0. 1 2 4 マイクロシーベルト/年に相当し、自然界から 1 年間に受ける放射線量（2 4 0 0 マイクロシーベルト/年）の 1 万分の 1 以下に相当する **極めて低い値であり、健康に影響はない。**ということです。

⇒ 試料の採取期間と採取場所：平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 3 年 5 月 2 日 奈良市（県保健環境研究センター）

⇒ 放射性物質：ヨウ素 1 3 1 1 0. 3 メガベクレル/㎥

セシウム 1 3 4 4. 7 メガベクレル/㎥

セシウム 1 3 7 4. 5 メガベクレル/㎥ ※セシウムは、大阪府検出値（4 月採取分）の約半分の値

なお、県景観・環境局環境政策課では、今回の福島第一原子力発電所事故に伴い、文部科学省からの委託を受けて環境放射能調査を強化し、定時降下物と上水（蛇口水）の測定を毎日おこなった結果を県のホームページで公表しています。これまでの毎日の測定では、定時降下物及び上水（蛇口水）から放射性物質は検出されず。また空間放射線量率についても通常の値（平成19～21年の奈良県の平常値：0.046～0.08マイクロシーベルト毎時）で推移しているということです。

◆◆◆ 宇陀市の義援金報告 ◆◆◆ （所管：厚生保護課）

総額20,346,082円（個人：19,385,223円、義援金箱：960,859円）

※平成23年5月27日現在

ご支援・ご協力、ありがとうございます。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の民間物資の受入状況について ◆◆◆ （所管：危機管理課）

⇒ 提供申出累計：902件

⇒ 被災地との調整済み累計：195件

平成23年5月10日現在

※県の救援物資の受入れは、4月11日から一時停止しています。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の住宅提供状況について ◆◆◆ （所管：危機管理課）

奈良県の東北地方太平洋沖地震にかかる住宅提供状況は下記のとおり。

⇒ 県営住宅：入居可能予定戸数100戸 内) 入居決定19戸（入居人数：63人）

- ⇒ 市町村営住宅：64戸（21市町村） 内）入居決定 4戸（入居人数：12人）
- ⇒ 公的（UR）賃貸住宅：入居可能予定数80戸 内）入居決定 3戸（入居人数： 6人）
- ⇒ 公的（雇用促進）住宅：入居可能予定数68戸 内）入居決定 1戸（入居人数： 4人）

平成23年5月30日 16：00現在

※過去に記載が漏れていたものも掲載しています。また、配信後に情報が入ったものについては翌日以降の掲載になります。併せてご了承下さい。